

## 《2019 年度 活動記録》

### 【活動概要】

2019 年

11 月 23 日(土) 2019 年度 第1回研究会「健康」(首都大学東京 南大沢キャンパスにて)

講演:

・八田直紀 (神奈川大学)

「大学生アスリートのウェルビーイング促進に向けた社会性と情動の学習プログラムの開発と評価

- これまでの研究とプログラム評価における印象評価手法の応用可能性 -」

・江尻綾美 (首都大学東京大学院博士後期課程、コニカミノルタ株式会社)

「女性の心身のセルフケアをサポートする体調記録ツールの開発とクラウドファンディングへの挑戦」

(当初、10 月 12 日(土)の開催を予定し、告知していたが、台風 19 号の影響により延期した。)

<首都大学東京 serBOTinQ と共催>

2020 年

3 月 15 日(日) 第 28 回システム大会 (Youtube 配信にて)

感性・官能セッションにて、若手研究者による発表講演を組織、支援した。

※ 第 2 回研究会を 2020 年 3 月に予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止した。

## 【詳細】

---

### 2019 年度 第 1 回研究会「健康」

日時： 2019 年 11 月 23 日(土) 15:00～17:00

場所： 首都大学東京 南大沢キャンパス 6 号館 1 階 101 教室

若手研究者の二人に、「健康」をテーマに、現在取り組んでいる研究や活動について講演いただいた。

講演：

・八田直紀（神奈川大学）

「大学生アスリートのウェルビーイング促進に向けた社会性と情動の学習プログラムの開発と評価

– これまでの研究とプログラム評価における印象評価手法の応用可能性 –」

・江尻綾美（首都大学東京大学院博士後期課程、コニカミノルタ株式会社）

「女性の心身のセルフケアをサポートする体調記録ツールの開発とクラウドファンディングへの挑戦」

八田先生のご講演では、印象評価手法を応用しアスリートのウェルビーイングを促進するためのプログラムを緻密に開発され、それを評価検証された研究についてご紹介いただいた。アスリートは極限まで身体やこころを鍛えることが期待される中、ウェルビーイングをどのように保っていくか、大変興味深いご研究であった。

江尻先生のご講演では、女性の心身をセルフケアできるツールをご紹介いただき、それをクラウドファンディングにより製品化まで行った研究についてご紹介いただいた。現存するセルフケアツールにはないオリジナルの点やクラウドファンディングのためのポイントなどについてもご教授いただいた。

これらのご講演に対し、さまざまな視点からのご質問やご指摘をいただき活発な議論がなされた。

※当初、10 月 12 日(土)の開催を予定し、告知していたが、台風 19 号の影響により延期した。

<首都大学東京 serBOTinQ と共催>

---

### 第 28 回システム大会

2019 年 3 月 15 日(日)

Youtube によるストリーミング配信

首都大学東京・南大沢キャンパスでの開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、現地開催を断念せざるを得ない状況となった。代替発表方法として、Youtube を活用したストリーミング配信を行った。直接対面してのディスカッションはできなくなったが、チャット機能を活用することで、それに近い環境を作り出すことができた。

---